

今月のことば

そんな とくか

人間の

ものさし

うそか まことか

佛さまの

ものさし

相田みつを著「おかげさん」
(ダイヤモンド社刊) より

龍谷大学非常勤講師
小池 秀章 こいけ ひであき

「皆さんの宝物って、何ですか？」

仏教では、三つの宝（三宝）が説かれます。「仏法僧」の三つです。仏とは、仏陀（真実に目覚めた者）のこと、法とは、仏陀の教えのこと、僧とは、仏陀の教えに従って生きる人たちのことです。

昔、お釈迦さまの弟子になる時に、この三宝に帰依する（依りどころにする）ことを誓う「三帰依文」を唱えることになって、入門が許可されました。今でも西本願寺で行われる帰敬式（おかみそり）の時、「南無帰依仏、南無帰依法、南無帰依僧」と唱えるのは、それを受け継いでいるのです。帰敬式とは、仏さまの前で、浄土真宗のみ教えを依りどころに生きることを誓う儀式ですが、具体的には、どのような生き方を指すということでしょう。

相田みつをさんの言葉に、「そんなとくか 人間のものさし うそかまことか 仏さまのものさし」というものがあります。私たちは普段、「損か得かのものさし」で物事を判断しています。しかし仏さまは、「うそかまことかのものさし」で物事を判断するのです。三宝を依りどころに生きるとは、損得をものさしとする自己中心的な生き方から、真実を求めて生きる生き方への転換だと言っているでしょう。

仏さまの前で手を合わせるのと同じ意味があります。仏さまの前で手を合わせた時、どんな「ものさし」で生きているか、振り返ってみましょう。

合掌